

セイヨウオオマルハナバチの 野生化の現状と 想定される生態リスク

横山 潤

(東北大・生命科学)

日本における野生化の経緯

1992年 本格的な導入の開始

1996年 国内初の自然巢の発見
(北海道門別町)

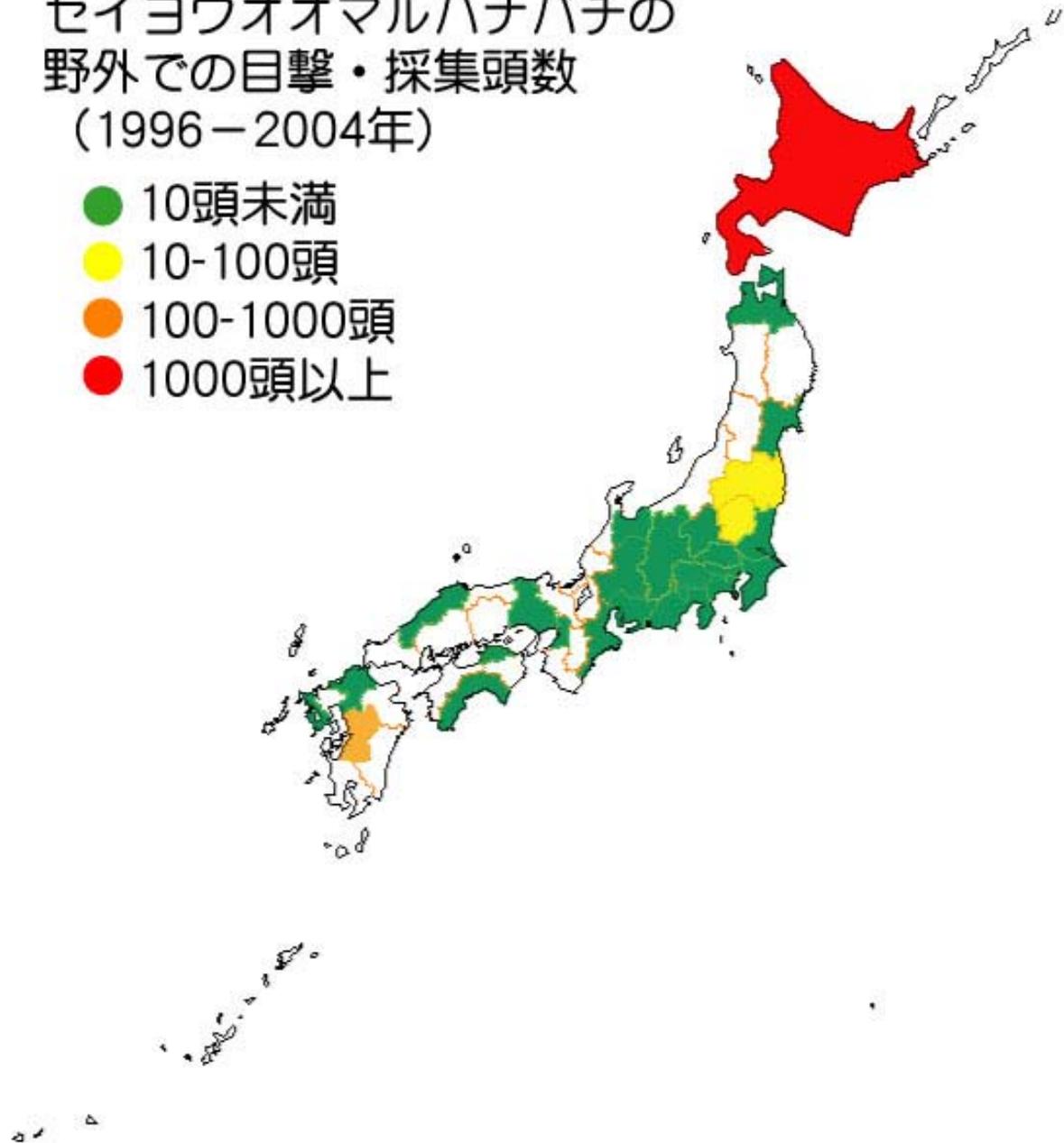
1998年 国内2例目の自然巢の発見
(島根県)

2002年 国内3例目の自然巢の発見
(北海道平取町)

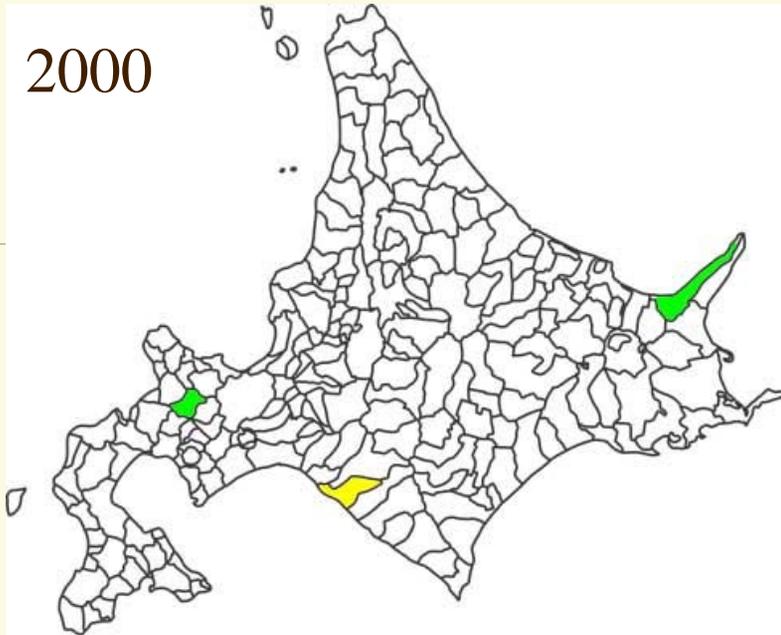
これまでに27都道府県で野外での
目撃・捕獲例が報告されている。

セイヨウオオマルハナバチの
野外での目撃・採集頭数
(1996-2004年)

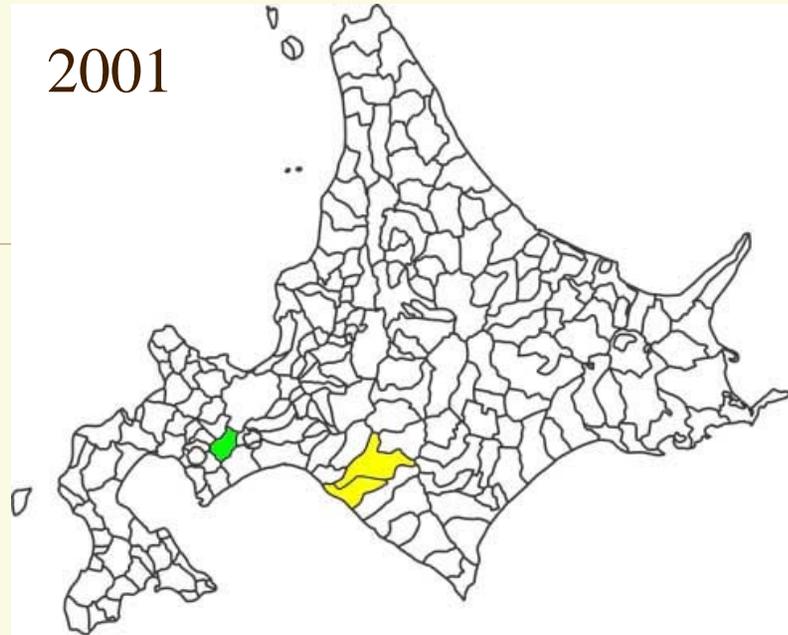
- 10頭未満
- 10-100頭
- 100-1000頭
- 1000頭以上



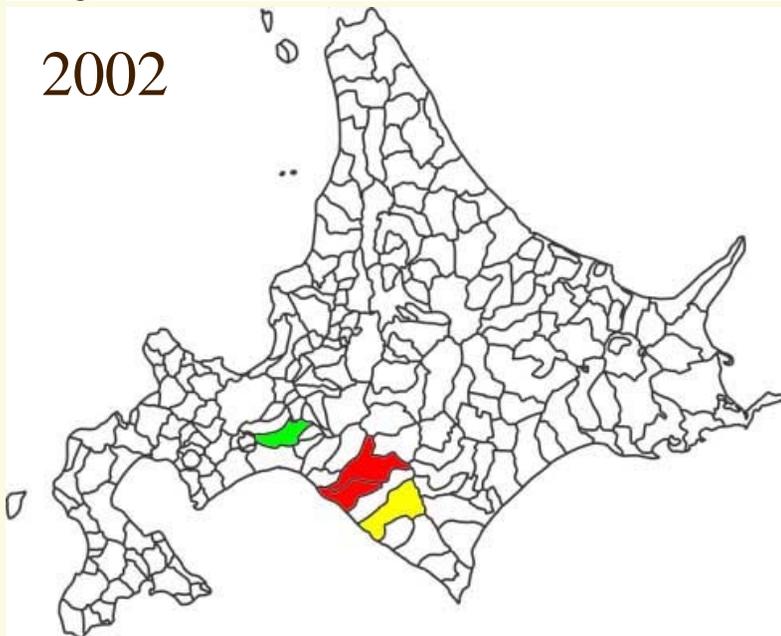
2000



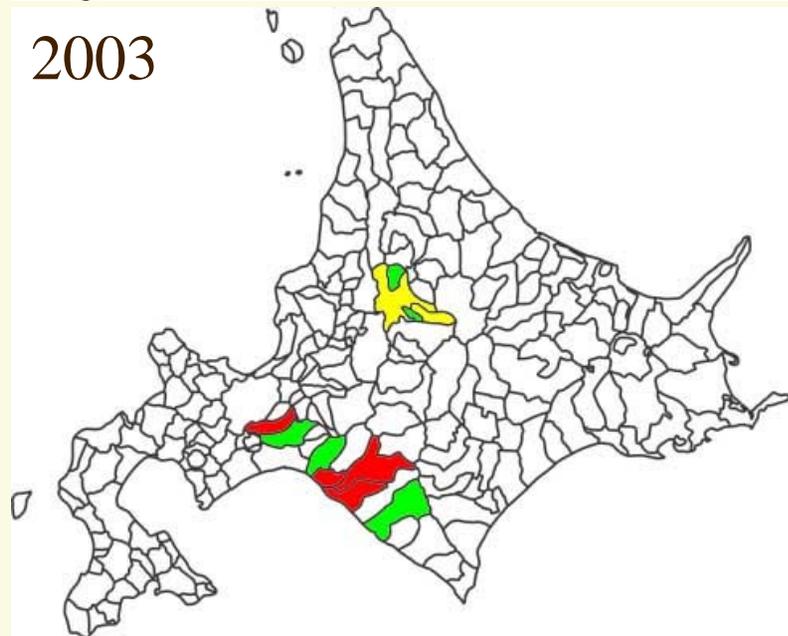
2001



2002



2003



2004年の北海道内での創始女王の捕獲・目撃状況と自然巢の発見例

